

令和3年度「あのね」 編集委員・読者モニター募集!!

一緒に「あのね」を作ってみませんか？
下記の要領で応募ください。

- 編集委員の応募条件
三八地域、上北地域、下北地域在住の現在子育て中の方で、かつ年6回の編集会議（アピオあおもりで開催）に出席できる方
- 読者モニターの応募条件
県内在住の現在子育て中の方
- 期間（共通）
令和3年4月～4年3月（あのね39・40号）
- 応募方法（共通）
「あのね」に対するご意見、住所、氏名、年齢、電話番号明記の上、はがき・FAX・メールにてご応募ください。詳細はお問合せください。
- 編集委員・読者モニター応募の宛先
郵送／030-0822 青森市中央3-17-1
アピオあおもり内
青森県子ども家庭支援センター
あのね編集委員／モニター係
- FAX／017-732-1073
- メール／kodomo-iken@apio.pref.aomori.jp
- お問い合わせ／青森県子ども家庭支援センター
電話／017-732-1011



転勤ママ必見★

「つがる弁 さんじゃらっと講座」あどはだり

さんじゃらっと…さらっと、ちょこっと、ほんのちょこっと
あどはだり…おかわり、あとを引く

（つがる市在住の編集委員による解説です。地域や世代によって微妙に異なることもあります）

例文①【いつまでごんぼほってるんだば】

訳 いつまで駄々こねてるの

解説 ごんぼほる＝駄々をこねたり、泣きわめいて手を焼かせている(子)。ごぼうを掘る作業がとても手間がかかることに由来。

例文②【あるごとねごとばりしゃべて、まんず、きまげる】

訳 本当かどうかわからないことばかり言って、ホント頭にくる

解説 きまげる（「きもやげる」ともいう）＝頭にくる。むかつく。

応用【ごんぼばりほって、なんぼきまげるつきゃな】

訳 駄々ばかりこねて、すっごくむかつく

解説 いやいやばかり言われると、イライラしちゃいますよねー。

★転勤、転居などで県内にお住いのみなさん、意味のわからない青森弁（津軽弁、南部弁、下北弁）、言葉が通じなくて困った経験はありませんか？編集部までどしどしお寄せください。

青森県子ども家庭支援センター

所在地：〒030-0822 青森県青森市中央3丁目17-1 アピオあおもり
開館時間：月～土／9:00～21:00
日・祝／9:00～17:00
プレイルーム利用時間（令和2年6月1日より）
9:00～12:00、13:30～16:30
予約は必要ありませんが、当面の間、密を避けるため、おおむね7組を超えた場合にお待ちいただくことがあります。
休館日：毎週水曜日・年末年始（12/29～1/3）
TEL：017-732-1011
FAX：017-732-1073
URL：<http://www.apio.pref.aomori.jp/kodomo2011/index.html>



ひとりで抱え込まずにご相談ください 子どもや家庭に関する相談をお受けします

- ◎どなたでもどうぞ ☎017-775-8080
 - ◎秘密は守ります
 - ◎相談は無料
 - ◎ホームページ「子育てQ&A」もご覧ください
- 9:00～16:00
（水曜日・年末年始を除く毎日）
- <http://www.apio.pref.aomori.jp/kodomo2011/soudan.html>
青森県子ども家庭支援センター総合相談



・編・集・後・記・

青森生まれ、青森育ち、そして青森で子育てとどっぷり青森に浸かってます。都会への憧れもありましたが、住めば都、楽しみながら子育てをしています。気がつけば四人のママになりました。子育ての悩みはそれぞれです。今の悩みがいつか笑い話となるような楽しい情報を提供できたら嬉しいです！（工）

編集委員の皆さんと育児トークをするのが本当に楽しくて、会議で青森に向かう前の日は、遠足の前の日のようにワクワクしていました♪あっという間の二年…皆さん、ありがとう!!寂しいよ～!!!（月）

子育て啓発情報誌「あのね」

第38号 令和3年1月
編集・発行／青森県子ども家庭支援センター
編集スタッフ
工藤 美穂・大門 あすか・田澤 陽子・月岡 美保
表紙／長谷川 真理子

交通のご案内

◆青森市営バス利用

- 中央循環線
「アピオあおもり前」下車
- 市民病院線 ●横内環状線
- 問屋町行き ●浜田環状線
- 朝日放送行き ●青森公立大学行き
「働く女性の家前」下車徒歩3分
- 国道4号線「市役所前」下車徒歩8分



駐車場80台 できるだけ公共交通機関をご利用の上、ご来館ください。

青森県男女共同参画センター及び青森県子ども家庭支援センターは、指定管理者青森コミュニティビジネス株式会社が受託・運営しています。